



東証プライム

証券コード：9628

燦ホールディングス株式会社

2025年3月期 決算説明会資料

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

2025年5月30日

目次

1.	2025年3月期 決算概要	P.03
2.	公益社の業績概況	P.10
3.	葬仙・タリイ・きずなホールディングスの業績概況	P.13
4.	2026年3月期（2025年度）業績予想	P.17
5.	資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応	P.21
6.	10年ビジョン数値目標の改定および中期経営計画（概要） （2025年度～2027年度）	P.30

1.

2025年3月期 決算概要

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

2025年3月期 業績ハイライト

1. 2024年9月に、株式公開買付け（以下、TOB）により、株式会社きずなホールディングス（以下、きずなHD）を連結子会社化。
2. 葬儀施行件数は61.9%増加し、きずなHDの連結に伴い家族葬の割合が増えたため葬儀施行単価は7.4%減少したが、葬儀施行収益は前期比49.9%増。
3. 一般管理費110.3%増は、主にきずなHDの連結子会社化に伴う一過性の諸費用の発生とのれん等の償却費の発生によるもの。のれん償却期間は16年。
4. 既存葬祭3社の事業が好調に推移したことに加え、TOBの実施により営業利益前期比 19.3%増、営業利益率 14.1%。
5. ノコア事業資産の不動産信託受益権の譲渡（2025年3月）による固定資産売却益を34億3百万円計上。

2025年3月期 業績概要 (連結)

	2024年3月期 4Q累計	2025年3月期 4Q累計	前期比		当初業績予想*	
			増減額	増減率	2025年3月期 4Q累計	増減率
(単位：百万円)						
営業収益	22,437	31,984	9,547	42.5%	24,300	31.6%
営業費用	17,104	24,216	7,112	41.6%	18,733	29.3%
一般管理費	1,543	3,246	1,703	110.3%	1,746	85.9%
営業利益	3,789	4,521	732	19.3%	3,820	18.4%
(営業利益率)	(16.9%)	(14.1%)	-2.8p		(15.7%)	
経常利益	3,800	4,363	562	14.8%	3,830	13.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,363	4,721	2,357	99.8%	2,450	92.7%

*2025年3月期 業績予想につきましては、2024年5月10日に公表した内容となります。

2025年3月期 四半期別業績概要（連結）

(単位：百万円)	1Q実績	前年同期比 増減率	2Q実績	前年同期比 増減率	3Q実績	前年同期比 増減率	4Q実績	前年同期比 増減率
営業収益	5,518	8.6%	5,667	6.4%	9,583	67.8%	11,214	77.5%
営業費用	4,230	7.1%	4,383	8.4%	7,454	68.8%	8,147	73.5%
一般管理費	442	19.2%	594	59.5%	1,175	196.0%	1,033	156.9%
営業利益	845	11.0%	688	-24.3%	953	6.2%	2,033	66.8%
(営業利益率)	(15.3%)	0.3pt	(12.2%)	-4.9pt	(9.9%)	-5.8pt	(18.1%)	-1.2pt
経常利益	863	12.7%	700	-23.7%	928	4.2%	1,870	52.7%
四半期純利益	551	10.9%	392	-33.3%	527	-6.6%	3,249	356.1%

直近5ヶ年の四半期業績 各項目推移について、当社HP「財務ハイライト」にてご確認いただけます。

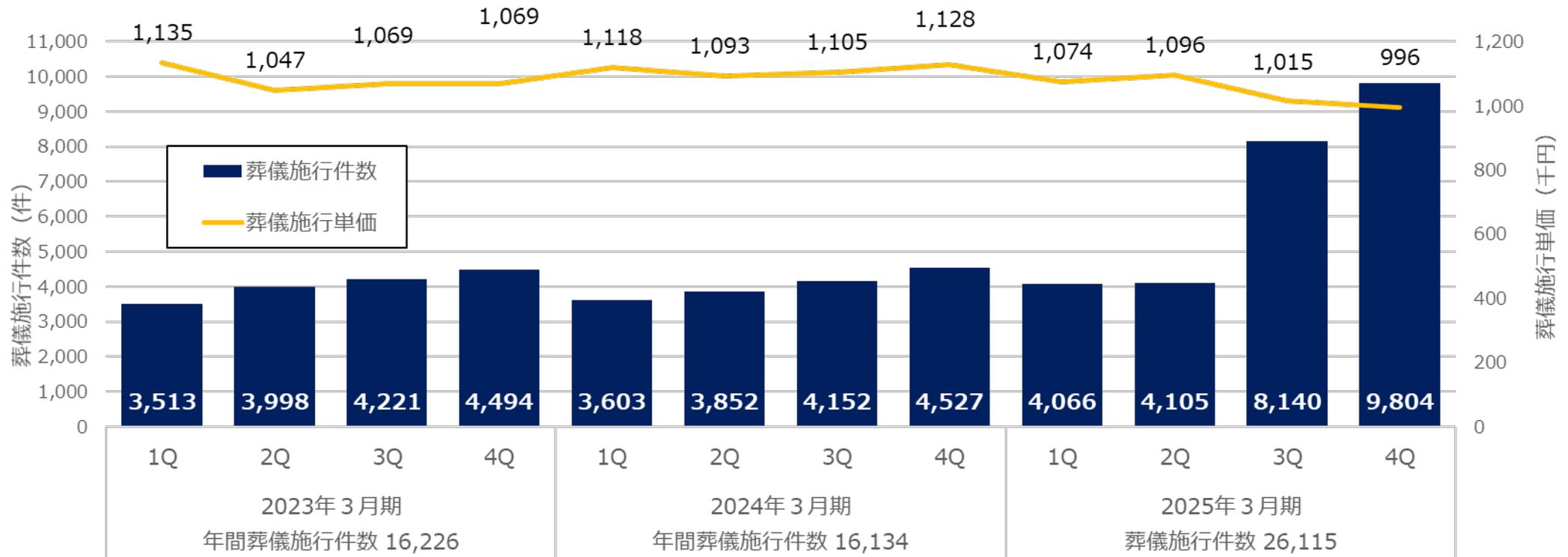
<https://www.san-hd.co.jp/ir/finance/chart.html>



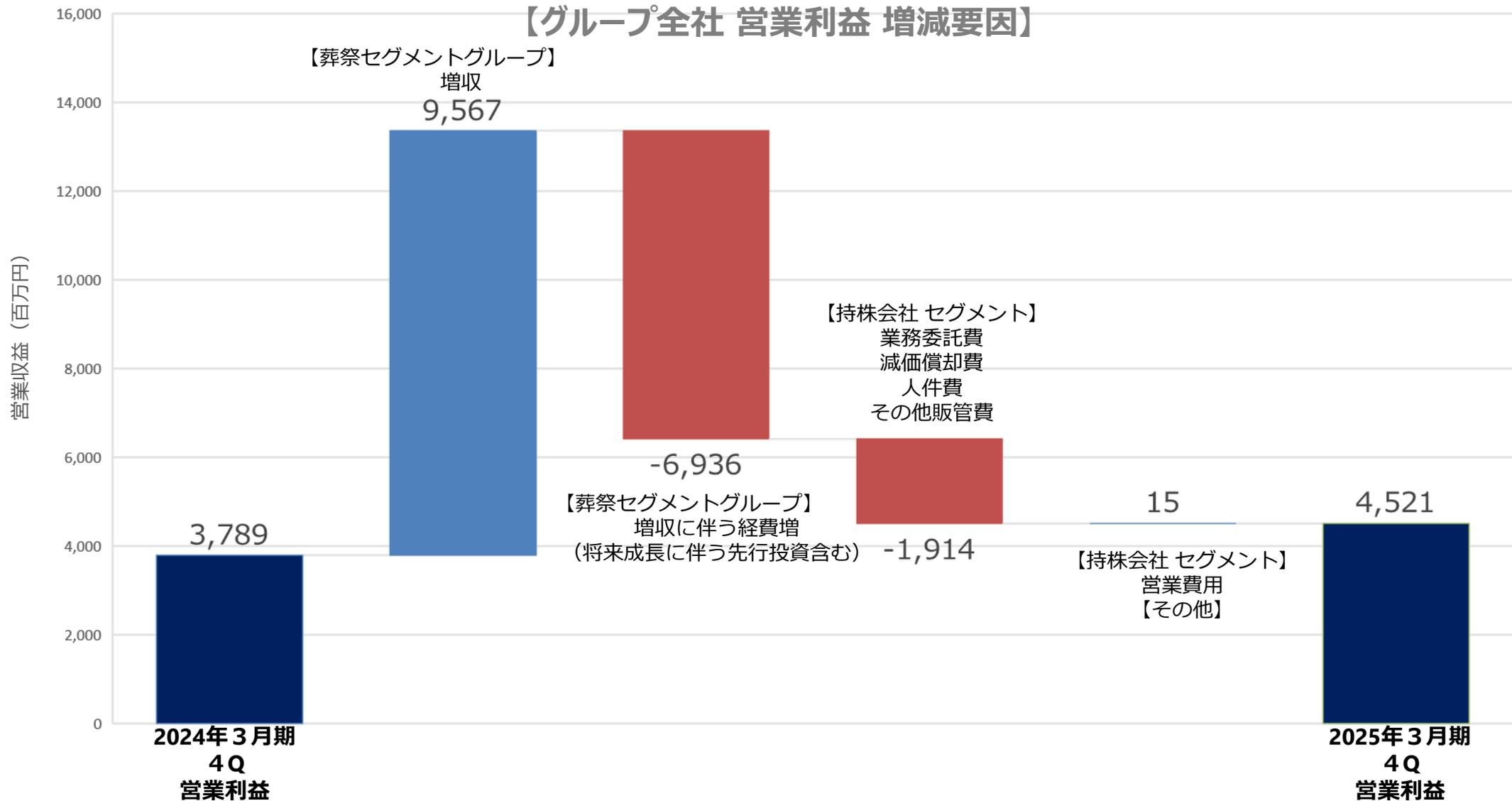
グループ 葬儀施行件数・葬儀施行単価の推移

- 葬儀施行収入：前期比49.9%増収
- 葬儀施行件数：前期比61.9%増加
- 葬儀施行単価：きずなHDの連結に伴い家族葬の割合が増えたため前期比7.4%減少

【葬儀施行件数と葬儀施行単価の四半期推移】



営業利益 増減要因



貸借対照表 増減

(単位：百万円)	2024年 3月末	2025年 3月末	前期比増減額	主要項目の増減内容	
流動資産	11,835	15,267	3,431	現金及び預金	2,873
固定資産	25,750	47,786	22,036	有形固定資産	9,091
				無形固定資産	12,125
				投資その他の資産	819
資産合計	37,585	63,053	25,467		
流動負債	3,636	9,664	6,027	短期借入金	500
				1年以内返済予定の長期借入金	2,531
固定負債	1,071	16,217	15,145	長期借入金	13,588
負債合計	4,708	25,881	21,173		
純資産合計	32,877	37,172	4,294	株主資本合計	4,294(*)
負債・純資産合計	37,585	63,053	25,467		

* 主な内訳：剰余金の配当△496、親会社株主に帰属する当期純利益4,721

直近5ヶ年の通期貸借対照表 主要項目の推移について、当社HP「財務ハイライト」にてご確認いただけます。
<https://www.san-hd.co.jp/ir/finance/chart.html>



2.

公益社グループの業績概況

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー

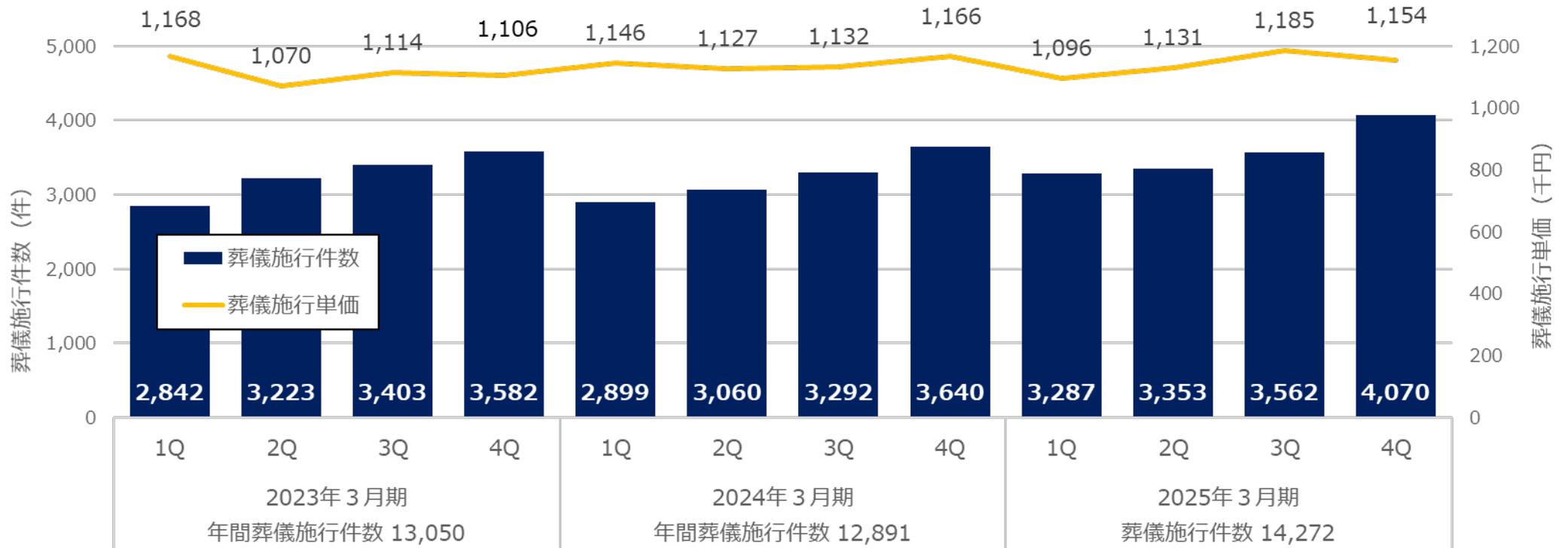


SAN HOLDINGS, INC.

公益社 葬儀施行件数・葬儀施行単価の推移

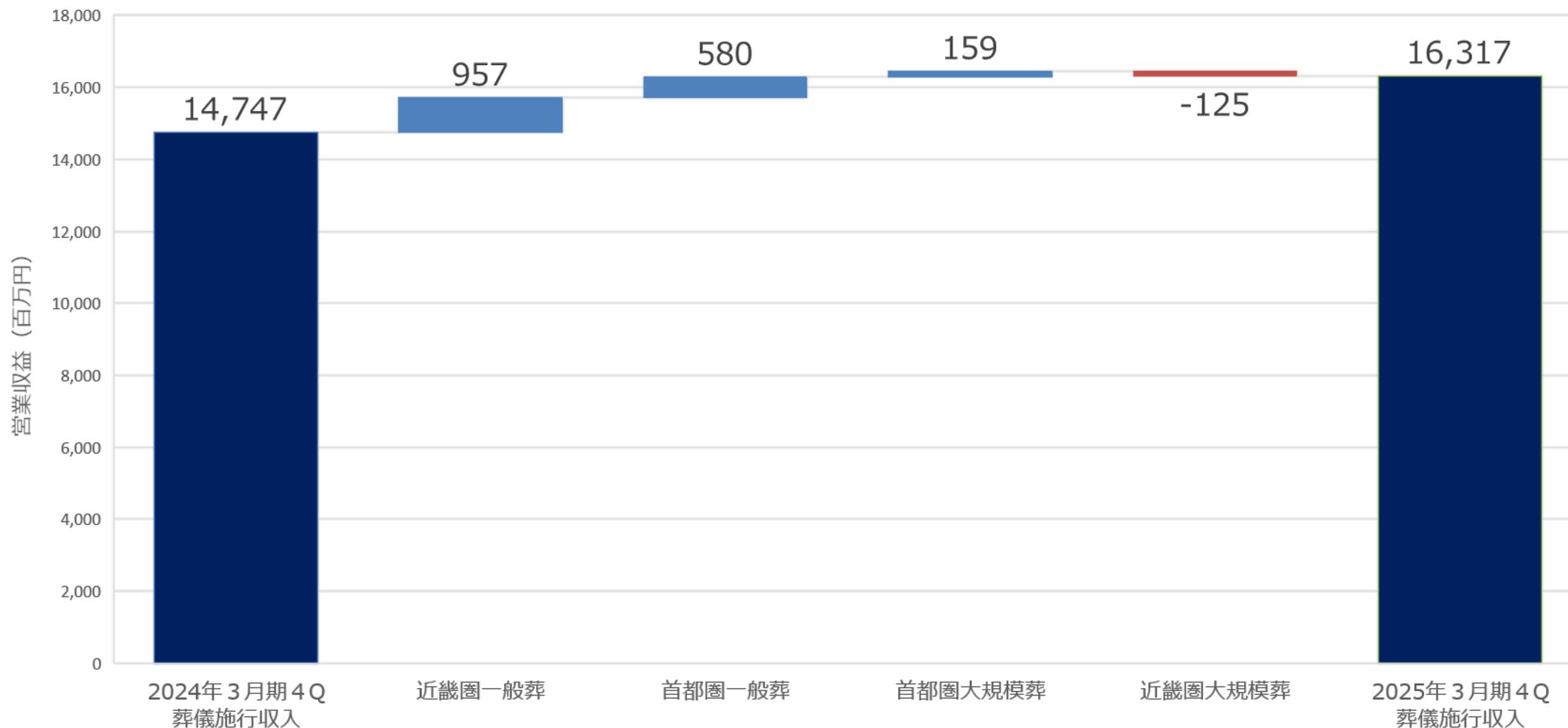
- 葬儀施行件数：新規出店をした会館を中心に一般葬儀（金額5百万円以下の葬儀）の葬儀施行件数が増加し、前期比10.7%増加
- 葬儀施行単価：平均1,143千円となり、前期並みに推移

【葬儀施行件数と葬儀施行単価の四半期推移】



公益社 葬儀施行収入 増減要因

【公益社 葬儀施行収入 増減要因】



葬仙グループ・タリイグループ・きずなグループの 3. 業績概況

シニア世代とそこご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

葬仙グループの業績概況

- 葬儀施行件数：一般葬儀を中心に、葬儀施行件数が増加
- 葬儀施行単価：直葬（火葬のみ）の割合が増え、葬儀施行単価は微減

	2024年3月期 4Q累計	2025年3月期 4Q累計	前期比	
			増減額	増減率
葬儀施行件数（件）	1,531	1,638	107	7.0%
葬儀施行単価（千円）	887	880	-7	-0.8%
営業収益（百万円）	1560	1,623	63	4.0%
営業利益（百万円）	155	204	49	31.1%

（注）営業収益および営業利益はセグメント情報に基づく

タリイグループの業績概況

- 葬儀施行件数：小規模な葬儀に適した新規会館を中心に増加
- 葬儀施行単価：葬儀の小規模化により低下

	2024年3月期 4Q累計	2025年3月期 4Q累計	前期比	
			増減額	増減率
葬儀施行件数（件）	1,712	1,851	139	8.1%
葬儀施行単価（千円）	1,072	1,054	-18	-1.7%
営業収益（百万円）	1,993	2,113	120	6.0%
営業利益（百万円）	452	512	60	13.2%

（注）営業収益および営業利益はセグメント情報に基づく

きずなグループの業績概況

- 2024年9月～2025年2月（6カ月間）の業績を連結しております。
- 子会社化に伴う一過性の公開買付関連費用約2億26百万円、およびのれん等の償却額を3億84百万円計上

	2024年9月 ～ 2025年2月
葬儀施行件数（件）	8,354
葬儀施行単価（千円）	860
営業収益（百万円）	7,459
営業利益（百万円）	366

（注）営業収益および営業利益はセグメント情報に基づく

4.

2026年3月期 業績予想

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

業績予想の主な前提

1. 2025年6月25日開催予定の定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、決算期（事業年度の末日）を3月31日から8月31日に変更することを予定しております。
2. 葬儀事業：きずなHDの業績が通期寄与することに加え、死亡人口の増加、新規出店効果が見込まれることから、増収を見込む。
3. ライフエンディングサポート事業：サービス機能強化およびリハビリ特化型デイサービス施設の運営、高齢者施設での食事提供の拡大により増収の見込む。
4. 費用：事業拡大に伴う人件費、会館出店・維持コストの増加を見込む。加えて、きずなHDののれん等の償却額が増加。

決算期変更について

* 2025年6月25日開催予定の定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されることが条件

- 決算期（事業年度の末日）を3月31日→8月31日に変更
- 変更理由：営業収益等の季節変動に伴う事業運営への影響を緩和し、効率化を図るため。
- 8月期への決算変更の経過措置として、2025年度は17か月の変則決算となる。
- 2026年8月期：中間期は12月末、期末は8月末を予定。

	2025年			2026年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7・8月
3月決算 (変更前)	2026年3月期			2027年3月期		
8月決算 (変更後)	2026年8月期 [2025年度] (17か月決算)					

2026年3月期 業績予想(12か月)

- 2026年8月期業績予想（17か月）につきましては現在精査中であり、詳細が確定次第お知らせいたします。

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 業績予想	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	31,984	41,700	9,716	30.4%
営業利益	4,521	4,900	379	8.4%
営業利益率	(14.1%)	(11.8%)	-2.3pt	
経常利益	4,363	4,750	387	8.9%
当期純利益	4,721	2,775	-1,946	-41.2%

5.

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

現状分析

➤ 中期経営計画(2022年度～2024年度)にて、①～④の数値目標を設定

【①営業収益】

FY2024 **319.8**億円

FY2024中計比139%

達成



【②営業利益・率】

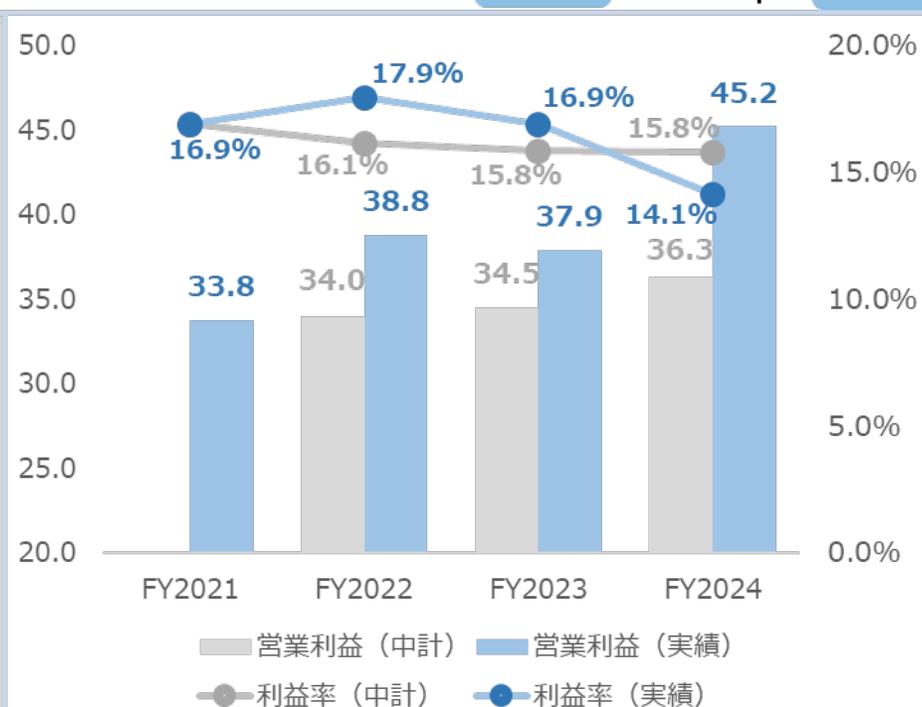
FY2024 **45.2**億円・**14.1%**

FY2024中計比 125%

達成

・▲1.7pt

未達

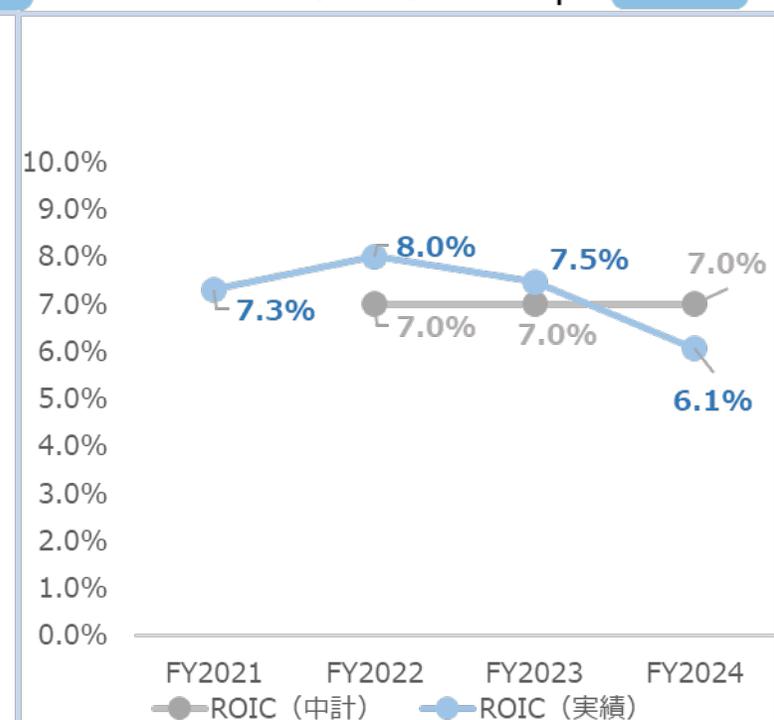


【③ROIC】

FY2024 **6.1%**

FY2024中計比 ▲0.9pt

未達



きずなHDの連結子会社化によりFY2024の営業収益が大きく増収、営業利益も左記に伴う利益増と売上の好調により増益となった。一方、営業利益率、ROICともきずなHD連結子会社化に伴い、のれんの償却が発生したことが主要因で低下。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

現状分析

【④キャピタルアロケーションの目標と実績】

キャッシュイン

	中計目標	中計実績
営業キャッシュフロー	88億円	116億円
手元預金および有利子負債の活用	－ 億円	53億円
資産売却	－ 億円	39億円
合計	88億円	209億円



達成率
238%

営業キャッシュフローの増加に加え、積極的な成長投資のための資金を借入および非コア事業資産の売却により調達

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

現状分析

【④キャピタルアロケーションの目標と実績】

成長投資

中計目標

中計実績

キャッシュ アウト	投資	成長投資（出店&M&A）	45億円以上	173億円
		維持投資他	10~15億円	11億円
		小計	55億円以上	184億円
	株主 還元	配当		14億円
		自己株式取得		10億円
		小計		25億円
	合計			

中計目標

中計実績

45億円以上  大幅増加 **173億円**

達成率
384%

積極的な成長投資を実施し、2社のM&A（きずなHD、東京セレモニー）により事業規模を大きく拡大させた。また、株主還元についても自己株式取得を10億円規模で実施

* 現状分析の詳細については、2025年5月8日開示「10年ビジョン数値目標の改定および中期経営計画（概要）（2025年度~2027年度）」をご参照ください。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

取組みの方向性

1. 新たな中期経営計画(2025年度～2027年度)にて、新たな目標指標を設定
2. 重視する資本効率指標を「ROE」とし、中長期的に安定して「8%以上」にすることを目指す
3. キャッシュ創出力を表す「EBITDA」を重要指標に追加
4. きずなHDの統合シナジーを加味し、他の中期経営指標・キャピタルアロケーション方針について、現在、詳細を検討中。
中期経営計画の詳細については、2025年8月を目途に公表いたします。

株主還元方針の変更

- 変更理由：より一層、株主の皆様へ報いる趣旨から、**累進配当を基軸**とした株主還元の向上を目指す

【配当方針】

当社は、株主の皆様への利益配分を経営上の最重要課題の一つと考えております。剰余金の配当につきましては、連結業績および資金の状況、中長期的な成長投資のための内部留保の確保、ならびに財務の健全性等を総合的に勘案しながら、累進配当政策を採用し、原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を継続的に実施する方針であります。

また、自己株式の取得につきましては、今後も株価やその他諸条件を考慮のうえ機動的な実施を検討してまいります。

内部留保につきましては、積極的な新規会館開設を中心に、ITや、M & A等の戦略的投資の原資に充て、経営基盤の強化と企業価値向上をはかってまいります。

2025年3月期 配当

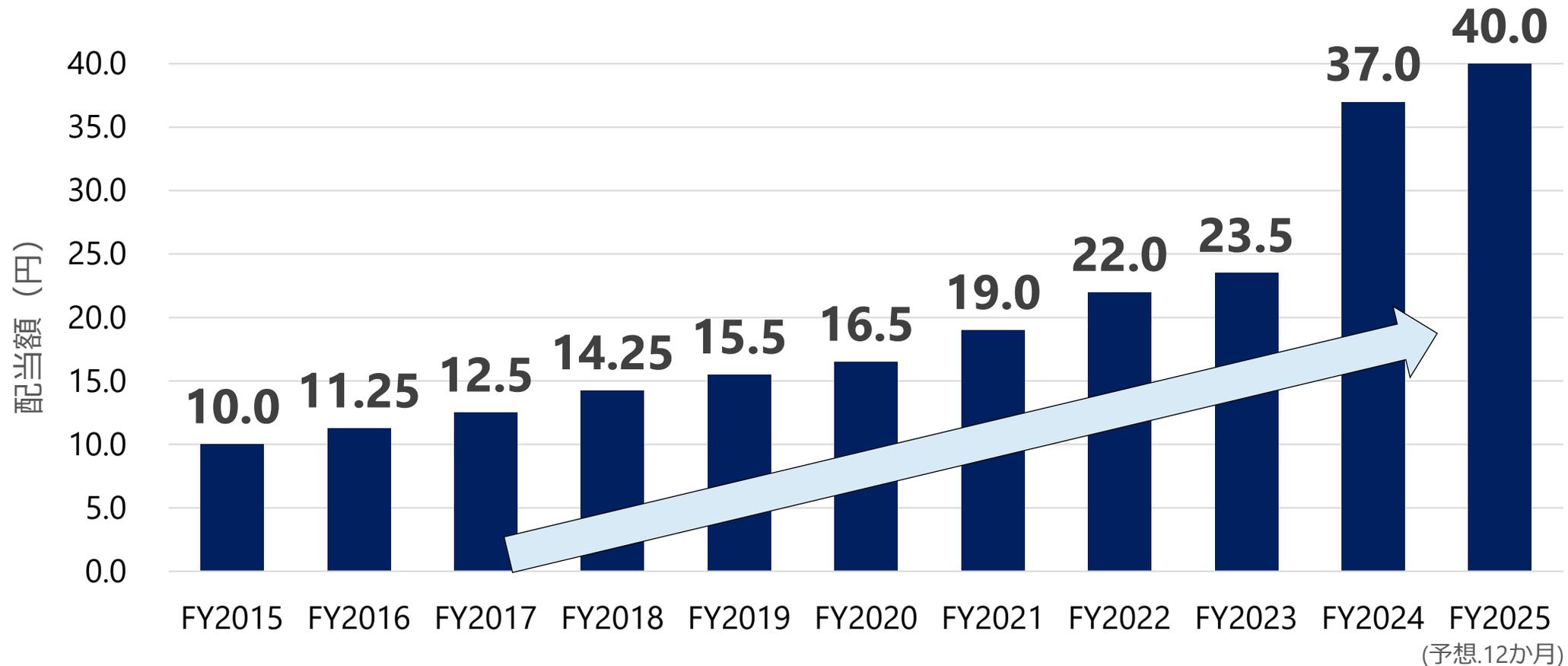
- 当初の配当予想（2024年5月10日発表:年間配当金24円）に比べて、13円の増配を実施し、年間37円とします。
- 当期の特殊要因（不動産信託受益権の譲渡による固定資産売却益の計上）を除くと、配当性向は32.1%となります。

(単位：円)		2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
1株あたり配当金 (分割前換算)	1株あたり配当金	44.0	35.0	37.0
	中間 (分割前換算)		(47.0)	(74.0)
	期末 (分割前換算)	21.0	23.0	12.0
		23.0	12.0	25.0
			(24.0)	(50.0)
配当性向 (連結)		16.7%	20.5%	16.0%

* 2019年10月1日付と2023年10月1日付で、普通株式1株につき2株の株式の分割を行いました。

配当金の推移

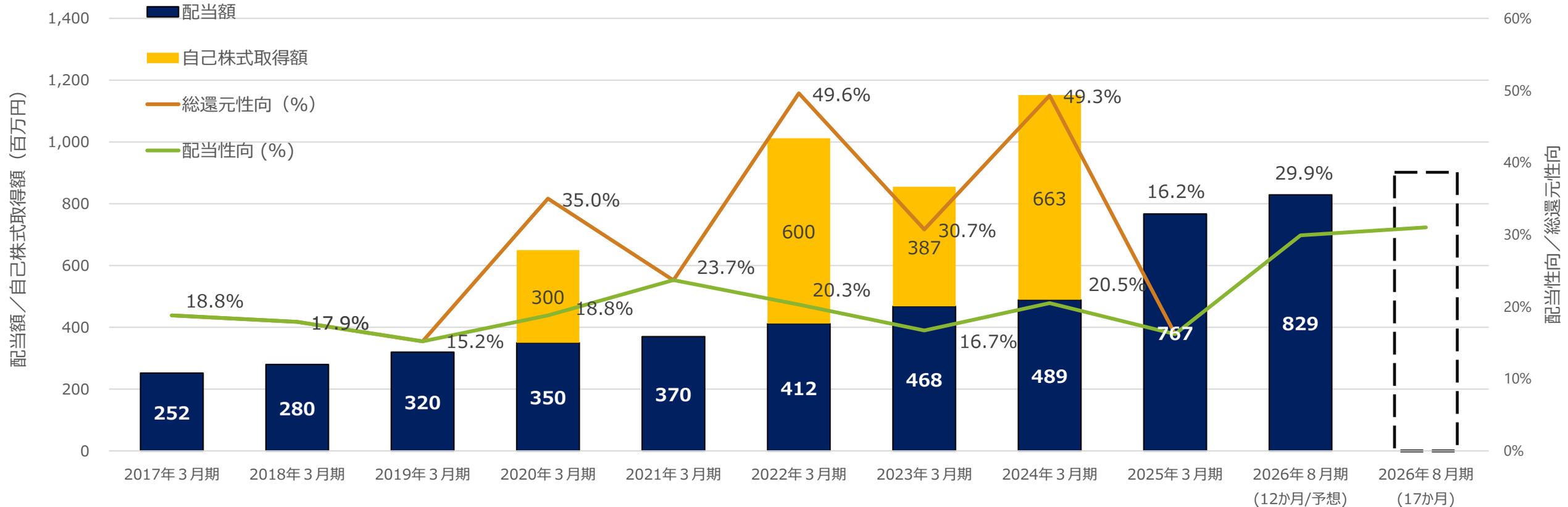
➤ 10期連続の増配



* 2019年10月1日付と2023年10月1日付で、普通株式1株につき2株の株式の分割を行いました。

配当性向ならびに総還元性向の推移

【配当性向及び総還元性向の推移】



*2023年10月1日を効力発生日とする株式分割（1：2）を実施しております。

10年ビジョン数値目標の改定および 中期経営計画（概要） （2025年度～2027年度）

6.

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

前中期経営計画

6-1 (2022年度～2024年度) の振り返り

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

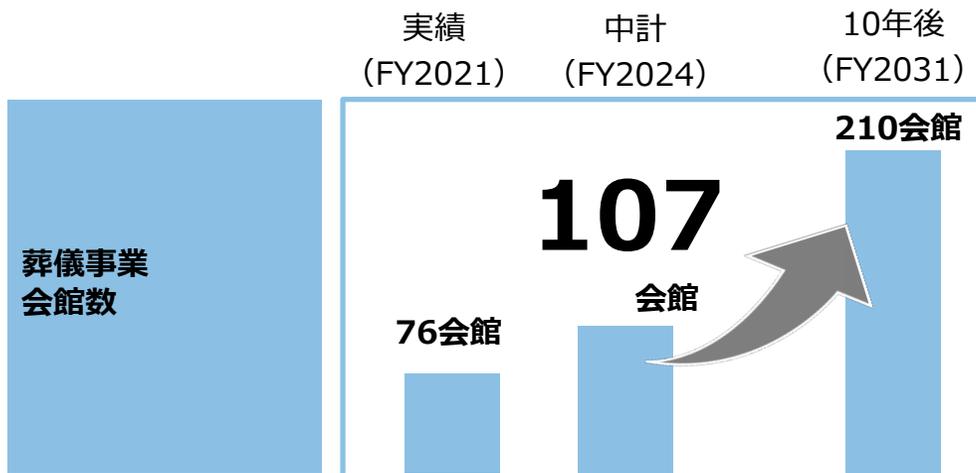
前中期経営計画（2022年度～2024年度）の振り返り

■ 10年ビジョンの中長期目標に対する進捗状況

【10年ビジョン中長期目標】

【FY2024目標達成状況】

大幅前倒し
で達成！



中計目標

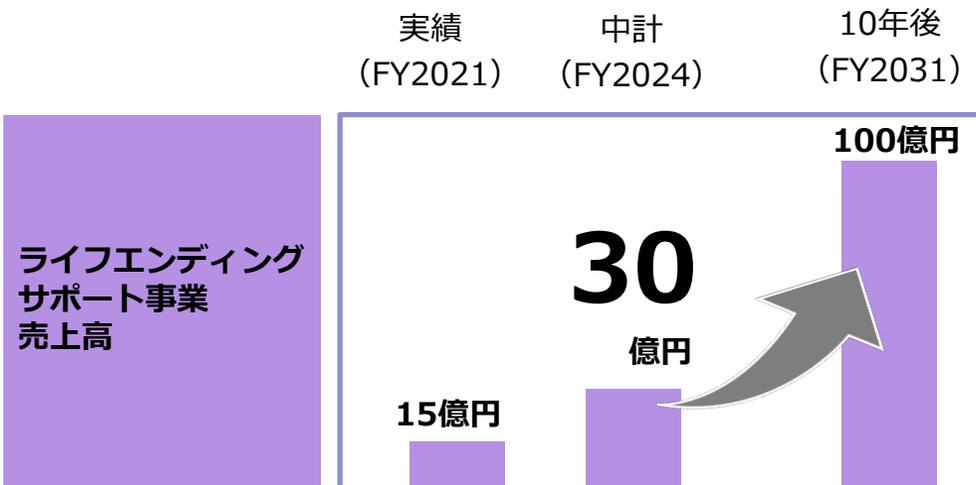
中継実績

107 会館

267 会館

達成率
250%

2024年9月きずなHD連結子会社化により会館数が大幅に増加し、10年ビジョンで掲げたFY2031の目標も前倒しで達成



中計目標

中計実績

30 億円

25 億円

達成率
83%

コロナ影響により介護事業等の新規事業の遅れと、葬儀規模の縮小による返礼品等の単価減により目標未達となった

前中期経営計画（2022年度～2024年度）の振り返り

■中期経営計画 数値計画の達成状況

【営業収益】

FY2024 **319.8**億円

営業収益
大幅増

FY2024中計比139%

達成

【営業利益・率】

FY2024 **45.2**億円・**14.1**%

営業利益
大幅増

FY2024中計比 125%

達成

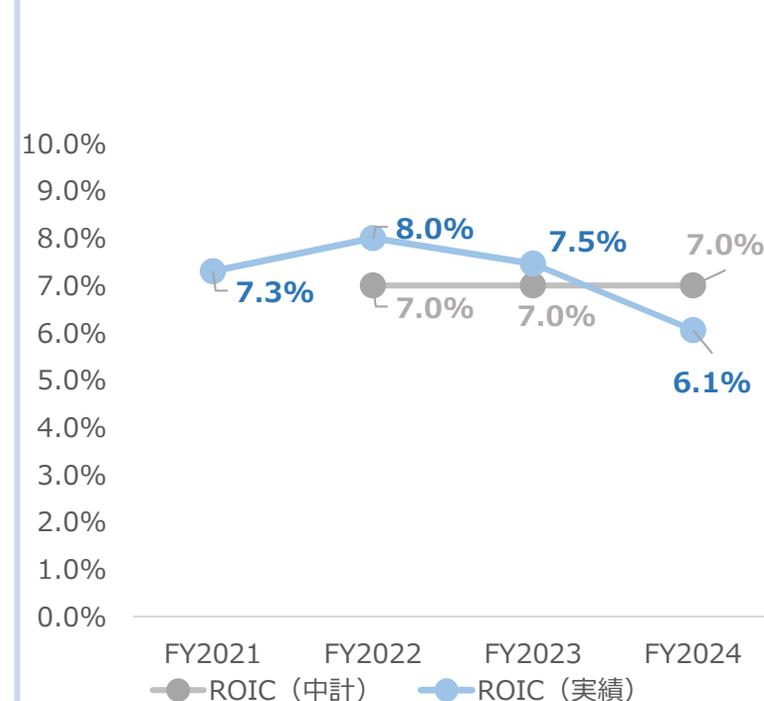
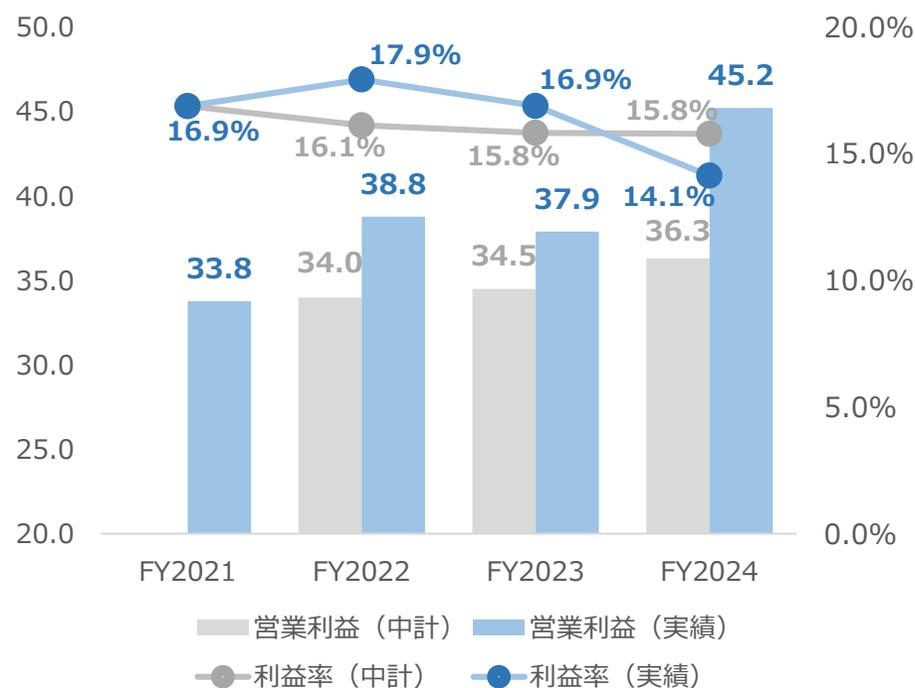
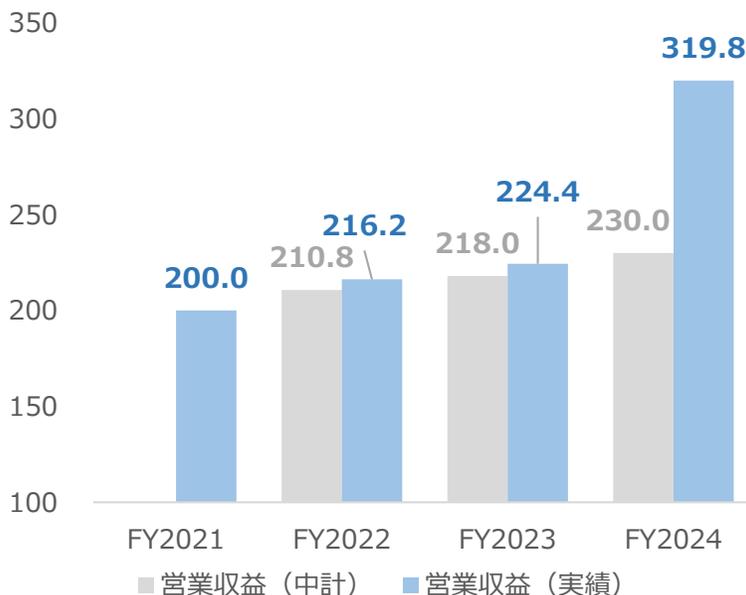
・▲1.7pt 未達

【ROIC】

FY2024 **6.1**%

FY2024中計比 ▲0.9pt

未達



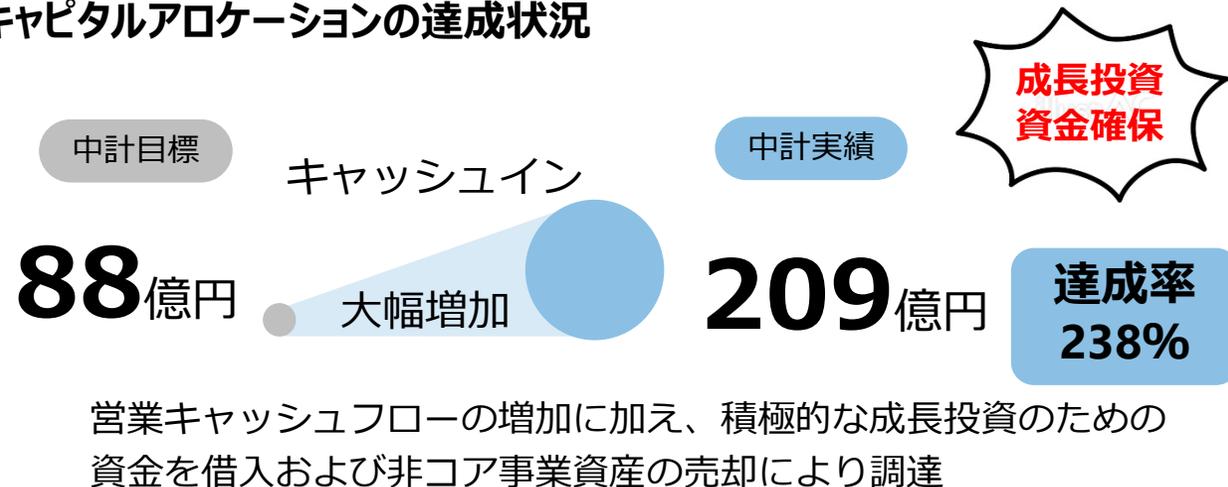
きずなHDの連結子会社化によりFY2024の営業収益が大きく増収、営業利益も左記に伴う利益増と売上の好調により増益となった。一方、営業利益率、ROICともきずなHD連結子会社化に伴い、のれんの償却が発生したことが主要因で低下。

前中期経営計画（2022年度～2024年度）の振り返り

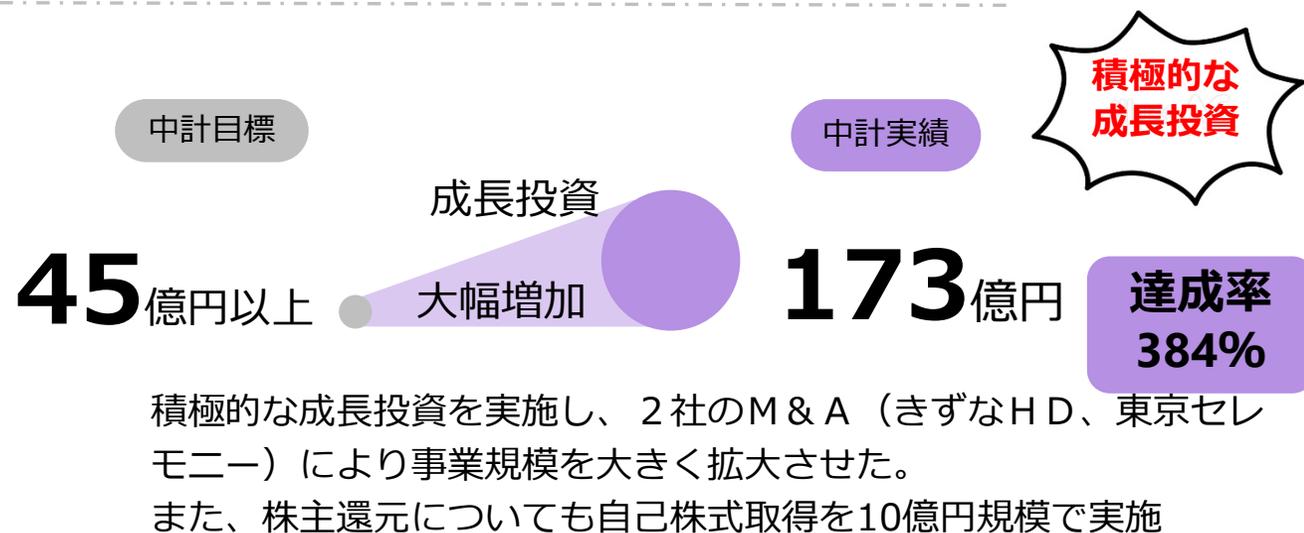
■ 中期経営計画 キャピタルアロケーションの達成状況

【キャピタルアロケーションの目標と実績】

	中計目標	中計実績
キャッシュ イン	営業キャッシュフロー	88億円 116億円
	手元預金および有利子負債の活用	- 億円 53億円
	資産売却	- 億円 39億円
	合計	88億円 209億円



	中計目標	中計実績
投資	成長投資（出店 & M & A）	45億円以上 173億円
	維持投資他	10～15億円 11億円
	小計	55億円以上 184億円
株主 還元	配当	14億円
	自己株式取得	10億円
	小計	25億円
合計		209億円



6-2

10年ビジョン数値目標の改定

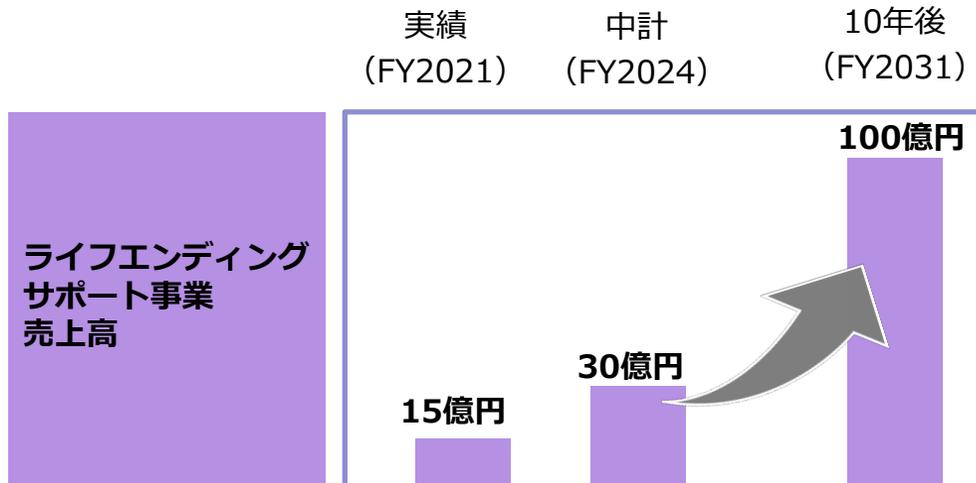
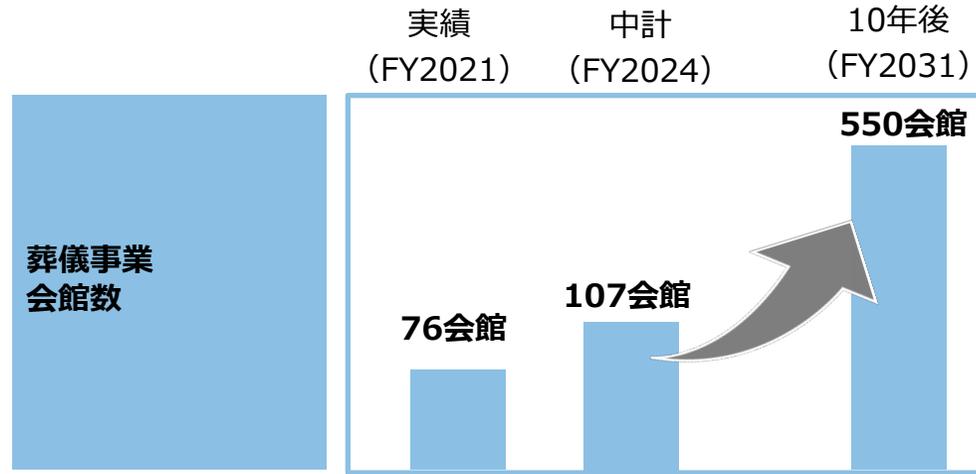
シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

10年ビジョン数値目標の改定

- 10年ビジョン「葬儀事業の会館数目標」は前倒しで達成したため、新たな目標として葬儀会館数を「550会館」に引き上げて更なる拡大を目指す



【見直し後】

改定前

会館数

改定後

210会館

550会館

更なる拡大
目指す

前目標比
262%

FY2024で目標を前倒し達成。今後も日本全国の主要都市に事業展開エリアを拡大し、自社出店とM & Aにより会館規模550会館を目指す

改定前

売上高

改定後

100億円

100億円

変更なし

コロナによる新規事業拡大の遅れ等もありFY2024は目標未達となったが、成長に向けた取り組みを強化しFY2031での達成を目指す

6-3

中期経営計画（FY2025～2027）

シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえる
ライフエンディングパートナー



SAN HOLDINGS, INC.

中期経営計画（2025年度～2027年度）

■方針

10年ビジョンの実現に向け、次なるステップへ！ 変化を恐れず、新たなチャレンジ！

●創業100年に向けて進むべき方向、ありたい姿

私たちは

「シニア世代とそのご家族の人生によりそい、ささえるライフエンディングパートナー」
として、日本一お客様に満足と感動を与えるサービスを提供し事業を成長させるとともに、
人生100年時代の社会に貢献します。

■策定の背景

エンディング業界、中でも特に葬儀業界は、昨今、同業者だけではなく、異業種からの新規参入が相次ぎ、その様子は大きく様変わりしています。

お客様の葬儀に対する考え方、価値観の変化、全国各地での事業者間の熾烈な競争、活発なM&Aによる業界の再編等、私たちの事業を取り巻く環境は大きく変わっています。

日本は今、人口の自然減が常態化し、超高齢社会を迎えています。急速に変化している社会において、様々な課題が生じており、人生の終末期「ライフエンディング」におけるサポートを行うサービスや商品を、シームレスに提供することが求められています。

私たちは、2サイクル目となる「中期経営計画2025年度～2027年度」に取り組むことで、次なるステップへと歩みを進め、

日本一お客様に満足と感動を与えるサービスを提供し事業を成長させ、人生100年時代の社会に貢献することで、「10年ビジョン」の実現を目指します。

中期経営計画（2025年度～2027年度）

10年ビジョンの実現に向け、次なるステップへ！ 変化を恐れず、新たなチャレンジ！

■重点テーマ

Growth

1. 葬儀事業の拡大
2. ライフエンディングサポート事業の拡大

Quality

1. 日本一満足・感動いただけるサービスを目指した仕組み強化

Change

1. きずなホールディングスとの経営統合（PMI）の推進
2. 決算期の変更による経営及び事業運営の効率化

Sustainability

1. 資本コストや資本収益性を意識した経営の実践を通じた企業価値向上
2. 人的資本経営の推進
3. ESG・SDGsへの積極的な取り組み

中期経営計画（2025年度～2027年度）

■重点テーマ

Growth

1. 葬儀事業の拡大

家族葬ブランド（エンディングハウス、家族葬のファミリーユ）を中心に日本全国の主要都市に事業展開エリアを拡大する

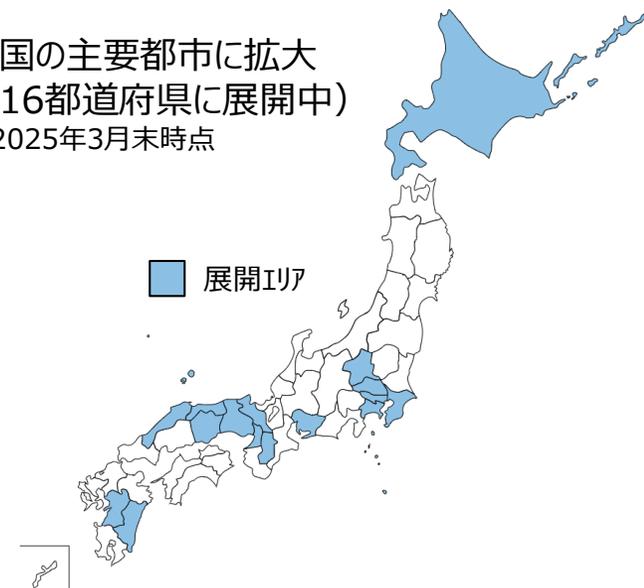
- 自社出店（エンディングハウス、家族葬のファミリーユブランド中心）による拡大
- M&A、他事業者との提携による拡大

2. ライフエンディングサポート事業の拡大

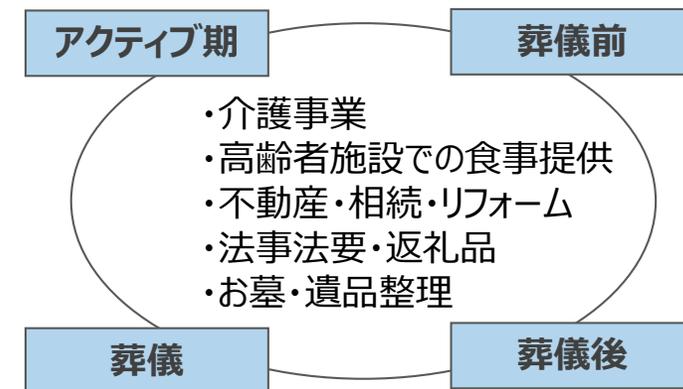
終活から葬儀後までのライフエンディングサポート事業分野を拡大し、お客様と家族の長期間のサポートを実現させる

- 既存のライフエンディングサポート事業の売上拡大
- 新しい高付加価値サービス事業の開拓
- サービスメニューの拡大・拡充
- グリーフケアサポート活動の拡大

日本全国の主要都市に拡大
（現在16都道府県に展開中）
※2025年3月末時点



「シニアライフのサポートパートナー」
モデルの構築



中期経営計画（2025年度～2027年度）

■重点テーマ

Quality

1. 日本一満足・感動いただけるサービスを目指した仕組み強化

企業価値の源泉である高品質・高付加価値なサービスを提供するためのクオリティマネジメントシステムを強化する
また、葬儀サービスを提供する人財の早期育成を行う

- お客さまアンケートの徹底による課題把握と品質向上の仕組み強化
- 葬儀サービスを行う人財の早期育成と品質確保
- 新しい付加価値商品・サービスの創出・提供

中期経営計画（2025年度～2027年度）

■重点テーマ

Change

1. きずなホールディングスとの経営統合（PMI）の推進

きずなホールディングスとの機能・ノウハウの共有および重複機能の統合・最適化を推進

- ガバナンス体制の整備（意思決定機能、予算統制、マネジメントレポートの統一化他）
- きずなHDのもつ家族葬のノウハウ活用による家族葬領域の強化および品質向上
- きずなHD展開エリアでの燦HD機能の有効活用（エンバーミング、グリーンケア等）
- 重複機能の統合・強化
- 共同購買の実施

2. 決算期の変更による経営及び事業運営の効率化

きずなホールディングスとの決算期統合を機に決算期を3月末から8月末に変更し、営業収益の季節変動要因の影響を緩和するとともに事業運営の効率化を図る

- 決算期統合に係る決算業務等の課題対応
- 決算期変更に対し、業績レポート等の比較可能性担保

中期経営計画（2025年度～2027年度）

■重点テーマ

Sustainability

1. 資本コストや資本収益性を意識した経営の実践を通じた企業価値向上

資本コストや資本収益性を意識した経営の実践を通じて企業価値向上を図り、早期にPBR 1倍超となることを目指す

- 資本効率の改善に向けた取り組みと資本効率目標の設定
- キャピタルアロケーション方針の開示とそれに沿った資金の使用
- 株主還元方針の見直し
- IRの強化

2. 人的資本経営の推進

当社の価値創造の源泉は、人財であるため、教育や研修、日々の業務を通じて自己の能力やエンゲージメントを向上を図る

- ビジョン達成に必要なスキル、専門性を備える人財を採用・育成
- グループ内外の人財育成・教育機関「燦ビジネスアカデミア」の立上げ
- エンゲージメント向上の具体的な取り組みを継続



人的資本経営のコンセプト

中期経営計画（2025年度～2027年度）

■重点テーマ

Sustainability

3. ESG・SDGsへの積極的な取り組み

ESG・SDGsへの積極的な取り組みを継続し、社会課題の解決に寄与する

- 気候変動への対応
- エンバーミングによるより良いお別れの場の提供
- 訪日外国人客の本国への搬送や、海外渡航者の日本への搬送対応
- 遺族サポート「ひだまりの会」によるグリーフケア活動の拡大
- おひとりさま向けサービスの充実

※エンバーミングとは・・・エンバーミングとは、よりよいお別れのために、ご遺体に消毒殺菌・防腐・修復・化粧をし、生前のお姿に近づける技術

※グリーフケアとは・・・身近な人との死別を経験し、悲嘆に暮れる人を、悲しみから立ち直れるように支援すること。

中期経営計画（2025年度～2027年度）

■数値目標

重視する資本効率指標を「ROE」とし、中長期的に安定して「**8%以上**」にすることを目指す
加えてキャッシュ創出力を表す「EBITDA」を重要指標に追加（数値目標は2025年8月公表予定）

【ROEの採用理由】 これまでは「ROIC」を資本指標としていましたが、株主視点でより自己資本の効率を意識し、効率改善を推進するため

【EBITDAの採用理由】 M&Aにより、のれん償却費が大きくなり、従来の「営業利益」だけでは、事業で稼ぐ力が見えなくなったため、営業活動における「キャッシュ創出力」を表す「EBITDA」を追加

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

他の中期経営指標・キャピタルアロケーション方針につきましては、現在、詳細の検討を進めております。

決算期変更による影響と、2024年9月のTOBによる(株)きずなホールディングス統合後の影響について、グループ全体で、中長期の営業収益や営業利益等の目標設定をするためには、より精度を高めて適切に算出する必要があること、および中計目標を達成するためにグループ戦略における全体設計をより詳細化する必要があるため、中期経営計画の詳細については、2025年8月を目途に公表いたします。

(単位：百万円)

	FY2025 中計	FY2026 中計	FY2027 中計
売上高			
営業利益			
営業利益率	現在策定中 (2025年8月公表予定)		
EBITDA			
ROE	中長期的に安定して「8%以上」を目指す		

EOF